

被災地支援だより

第 35 号 2016年10月23日

Tel. 042-482-3937/sdbchofuchurch@donboscojp.org/<http://chofu-church.ciao.jp>

被災者のための祈り（調布教会オリジナル）

いつくしみ深い神よ、被災された人々のために祈ります。

苦しみのうちにある人々を心に留めてください。一日も早く平穏な生活を取り戻すことができますように。また、亡くなられた人々が、あなたの光の中で安らかに憩うことができますように。

ともに祈るわたしたちが、被災された人々と心が一つになり、互いのうちにキリストを見出すことができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

調布教会信徒の片瓜和夫さんは、ほぼ毎月ボランティアとして被災地を訪れていらっしゃいます。7月、8月、9月に行かれた時の活動報告をしてくださいました。

【7月】

今回は、片瓜と、高浪さん、玉林さん、町田さん4人で車で訪問。12日 7時頃大槌ベースに到着、用意されていた食材で朝食を作って食べた。パン、スクランブルエッグ、電子レンジで処理したジャガイモ、生野菜、等。1時間の仮眠の後、9時から12日の活動の打ち合わせを行った。

7月12日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、町田、片瓜、野原
さん（長崎）

道筋が6月と変わって、メインストリートのかさ上げが終わり最初のベースへ向かう道が復活していた。そろそろ町の中心部の分譲が始まっているとのことである。



旧ベースがあった所 間もなく分譲開始

連絡がうまくいかずに曜日が変わったにもかかわらず、小国さん、佐々木さん、ヤスさん達が出迎えてくれた。ありがたい。

女性 8名 子供 男性 3名 支援さん 2名

昼食はレトルトカレーに具をくわえ、サラダと一緒に食べた。女性陣がいて食事を担当して下さる。ありがたみを自覚できた。

大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、高浪、町田、片瓜、ヒロさん スタッフ 西

玉林さんが大分疲れているので皆でフォロー。

一番重症の石井さん、その他いつものメンバーがにぎやかに話をした。

ヒロさんがマンドリンとハーモニカの演奏、場を和ませてくれる。特技のある人は羨ましい。

女性 8名 男性 1名 子供 1名

分ち合い 17:30～

- ・いつもと曜日が違っていても来てくれるのには感激した。
- ・患者さん以外の方(支援さん、スタッフ、店の人等)が疲れているのが分かった。
- ・演奏にお礼を言ってもらい感激した。(ヒロさん)
- ・仮設の集約が進んでいる。(スタッフ)

7月13日

安渡第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、町田、片瓜 スタッフ 道又

鈴木のバッチャン、加えてお友達に来て下さる。

仮設の壁が取り除かれ、お茶っ子を見ながら施術出来るので、とても良くなった。色々を持ち寄って下さり昼食の一部にさせてもらい有り難かった。お茶っ子の原形を見せてもらった。

男性 1名 女性 6名

赤浜第3仮設

出発 12:30～

活動 13:00～14:30

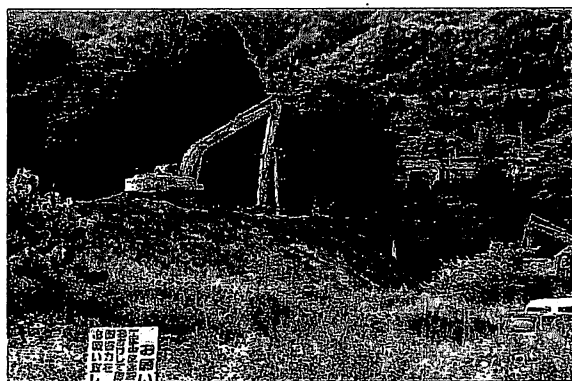
メンバー 玉林、高浪、町田、片瓜

いつもは朝10時からなので人数が心配だったが、まあまあの方々が来てくれた。赤浜地区は行く度に道筋が変わり、近くの山が削られていく。遊覧船が屋上に乗ったビルは半分壊れたまま倉庫として、使われている。

女性 6名

分ち合い 17:30～

- ・美颜ローラーが好評だった。(玉林)
- ・道が分からないのでドキドキした。(スタッフ 道又)
- ・安渡地区では道筋が変わる度にバス停の位置が変わるそうだ。



山田線 復旧工事

新しい道を走ってみて、ようやく復興が目に見えてきた感がある。町民たちの疲れも頂点に達している感がある。これからが彼らにとって、復興と呼ばれる入口に立った感がある。

【8月】

今回は、片瓜と、高浪さん、玉林さん、原さん、伊藤さん、吉田さん(北浦和教会)6人で車と新幹線で訪問することになった。私と原さんは22日中に現地に着き、受け入れの態勢を整えることにした。早朝に出発、昼過ぎには事務所に到着。何時も頼まれている方を一人施術、その後夕飯準備と23日の朝食の買出し準備を行う。料理は専ら原さんをお願いした。

23日朝7時過ぎに残りのメンバー到着、すぐに朝食、そして1時間の仮眠の後、9時から23日の活動の打ち合わせを行った。今回から活動の拠点、ベースから事務所の建物に移った。

ベースは今期いっぱい返却するそうである。

8月23日

赤浜第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、伊藤、吉田、片瓜、住永さん(長崎) スタッフ 西館、道又
旧盆の為1週遅れで来たが、住民たちは忙しいらしく人数は少なかった。

それでも皆でラジオ体操をして始めた。少ないが一人一人に、じっくりと時間をかけられた。

陸ちゃんとお母さんが来てくれた。支援さんと、スタッフ、メンバーの施術も行うことが出来た。

女性 3名 子供 1名

大槌第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、高浪、伊藤、吉田、片瓜、住永さん(長崎) スタッフ 西館、道又

途中の大槌川は最近の大雨で濁流になっている。

水害が心配である。石井さんは何とか来てくれた。その他のメンバーは、やはり旧盆のせいか来られない方が多い。

女性 4名



陸ちゃんはここで生まれ3歳になった

分ち合い 17:30～

- ・復興の為に立ち上げた店でも意見の違いでうまくいかない店もあるようだ。(玉林)
- ・初めて参加させてもらって全てが新鮮で、楽しかった。(伊藤)
- ・人数が少ない時は少ないなりにじっくりとした話が出来て良かった。(原)
- ・これから人に来てもらう方法を考える必要がある。(スタッフ)
- ・心を割った話が出来たと思う。

8月24日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、原、片瓜、吉田、瀬川(山口県)

兼太郎さん、佐々木さん、ヤスさん、遠藤さん達いつものメンバーがすぐに集まってくれた。さっそく施術に入り話が弾む。施術が進んだ所で瀬川さんが茶そばをふるまって下さり、皆で昼食をとった。伊藤さんのオペラの披露もあり楽しい時間を過ごせた。

男性 3名 女性 4名

赤浜第3仮設

出発 12:30～

活動 13:00～14:30

メンバー 玉林、高浪、原、片瓜、吉田、瀬川(山口県)

ひさしぶりに初めてのころ取りまとめをやってくださっていた越田さんが来てくれた。

もちろん鈴木のバッチャンとお友達も。施術はしないが話に来て下さる元網本の木村さんも来て大いに話にはなが咲いた。

男性 1名 女性 4名

分ち合い 17:30～

・兼太郎さんに会えてよかった。文字を刺し子で縫う時の難しさを話してくれた。

・小国夫婦が一緒にいるのを見れてよかった。

・この土地の特産品とし背の商品を作る人の養成が必要だと感じている。(スタッフ)

スタッフの案内で遠野との境まで行ったが、あいにく雲が多く景色には恵まれなかった。

行く途中の道では舗装されていない所が大雨でえぐり取られていて雨が心配になった。

【9月】

今回は、片瓜と、高浪さん、玉林さん3人で車で訪問することになった。数日前の台風の被害が心配であった。問い合わせたところ我々がお伺いしている仮設への被害はなかったらしい。

相変わらず天気は悪く現地に着くまでの間ずっとかなり強い雨であった。

今回も活動の拠点、事務所の建物に泊まった。朝食と昼食は生利さんが作ってくれていて助かった。

9月13日

安渡第2仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、片瓜

スタッフ 道又

仮設に行く途中の橋の上から重機で流木を引き上げているのを見ることが出来た。

玉林さんがここまで撮った写真を大量に焼きまわして来た。

仮設のバッチャン達とワイワイ言いながら

見て思い出して話した。とても良かった。まだ少しお盆の疲れが残っているみたいだ。

加えて週末からお祭りである。

兼太郎さんは相変わらず刺し子を頑張って我々にもプレゼントをしていただき、感激した。

女性 5名 男性 3名



これまでの写真をながめている

安渡第3仮設

出発 13:30～

活動 14:00～15:30

メンバー 玉林、高浪、片瓜 スタッフ 西館、道又

大雨のせい鈴木さんの息子さん夫婦が発掘のアルバイトが休みで来てくれた。

木村さんは何か用事があるのか来られなかった。初めての方も一人来て下さって施術してみると、やはり体中ごちごちだった。軽く施術また来るようにお願いした。急にコリを解くと体のバランスを崩してしまうためである。

女性 5名 男性 1名

分ち合い 17:30～

- ・雨の時も皆来てくれて嬉しかった。
- ・安渡第3 仮設は壁を取り除いてくれて良かったが、出来ればもう少し壁がない方が良い。
- ・写真が喜ばれ距離感が近くなった感がある。(玉林)

9月14日

赤浜第3仮設

出発 9:30～

活動 10:00～11:30

メンバー 玉林、高浪、片瓜 スタッフ 道又

いつも通り、集会所の前の犬が吠えて迎えてくれた。最近少し顔を覚えたのかあまり吠え続けられない。ラジオ体操を皆で行い部屋に戻りさっそく施術開始。幸い雨も弱まりいつものメンバーも殆ど来てくれた。

バッチャンたちが数人終わった所で、

3歳の陸君がお母さんとやってきた。

最初は愚図っていたがそのうち元気に遊び始めた。お友達が仮設から新しい家に移ってしまい寂しそうだ。

女性 6名 子供 1名



お茶っこをしながら施術の順番を待つ

大槌第3仮設

出発 12:30～

活動 13:00～14:30

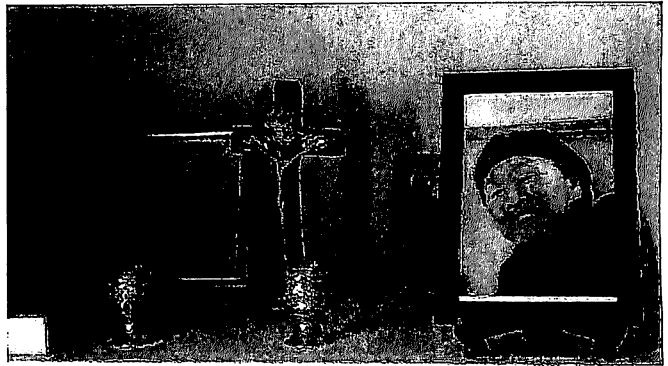
メンバー 玉林、高浪、片瓜 スタッフ 西館、道又

前回来れなくて心配だった方たちは皆来て下さった、台風の事を話したらこの仮設では避難指示が出たそうである。中でも12仮設のそばに住んでおられる洋裁の先生が少しぐったりしているので、理由を聞いてみたら床下に浸水して、後かたづけが大変だったそうである、仮設にはボランティアが入ったが、人数不足で彼女の所まで来てくれなかった、とのことであった。

女性 7名 支援さん 1名

分ち合い 17:30～

- ・ちょっと体調を崩した。(高浪)
- ・小さい子が引越して遊び相手が居なくなったのを見て寂しくなった。(スタッフ)
- ・午後前回来られなかった方が来てくれて嬉しかった。



赤浜で3歳のお友達が分かれ分かれになって、頻りにママに、「シュウ君何時来るの」と聞いているのを見て胸が詰まった。

古木神父様の居る祭壇 この部屋で寝起きした

【東日本大震災被災者の方々のためのロザリオ】

2011年3月11日に起こった大震災の被災者の方々、未だに仮設住宅で生活されている方々、現地で懸命に活動されている方々のために、有志と共にロザリオの祈りを捧げています。まだまだ祈りを必要とする被災地の方々のために、神様の導きと支えを願いたいと思います。どなたでもご参加いただけますので、是非ご一緒に祈りましょう。

日時：毎週木曜日 午後5:50～6:20 サレジオ神学院地下聖堂にて